

The CIRCLE

TOCHIGI TOYOTA
ドライブ情報誌&総合カタログ
ザ・サークル

75th Anniversary
栃木に根ざして75年

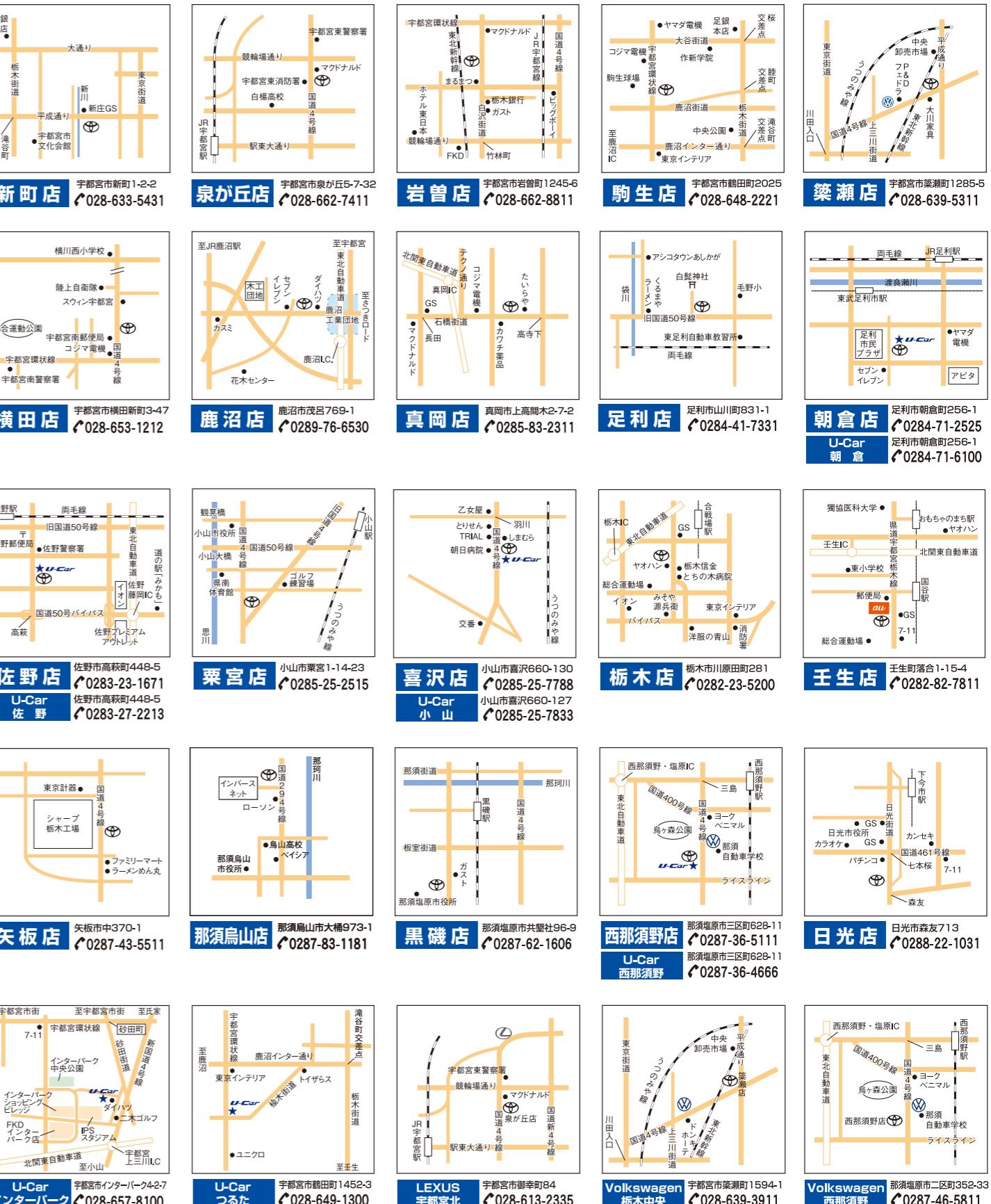
Vol.172

とちぎの未来へ、あなたとともに。

栃木トヨタ 創立75周年記念号



ENJOY CAR LIFE
TOCHIGI TOYOTA お気軽にお近くの栃木トヨタへお越しください



The CIRCLE
ザ・サークル

2021年発行
通巻172号

発行 栃木トヨタ自動車株式会社
本社／〒321-0105 宇都宮市横田新町3番47号

<https://www.tochigitoyota.com/>
お客様相談テレホン 0120-37-4190

■近距離モビリティWHILLの取り扱いを開始



自動車でもバイクでも、自転車でもない新しい移動手段“WHILL(ウィル)”の取り扱いをスタートしました。

WHILLは電動車椅子の概念を超える近距離モビリティで、ご購入いただいたお客様から、WHILLウィルに乗り始めてから、「もっと外出するようになった」「親が元気になった」といった声を頂いています。事前にご連絡いただければ試乗もできますので、お気軽に担当スタッフまでお申し付けください。



免許不要、歩道での走行可能
ウィルモデルシーツ
WHILL Model C2

メーカー希望小売価格 **473,000円**(送料調整費別)



自宅のコンセントで簡単に充電



5センチの段差も超えるタイヤ



感動的な小回り



変えられる10色のパネル



20l大容量が入るかご



ワイヤレスで施錠

※この製品はWHILL株式会社の製品であり、トヨタ自動車株式会社の製品ではございません。

WHILLについて詳しくは担当スタッフまでお問い合わせくださいかこちらをご覧ください⇒



創立75周年を迎えて
とちぎの未来へ、あなたとともに。

平素より弊社をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

本年、弊社は創立75周年を迎えます。

これもひとえに地域の皆さまの長年にわたるご支援・ご愛顧のおかげと
心から感謝申し上げます。

今回の“The Circle”は「創立75周年記念号」と銘打ち、
弊社の歴史・お届けしてきた車種・近年の取り組みについて
ご紹介させていただきます。

弊社がこれまで地域の皆さんと共に歩んできた歴史を
感じていただければ幸いです。

創立75周年を迎え、今一度、創業の原点に立ち返り、
地域の皆さんと共に歩む企業として、
とちぎの未来がより良くなるよう努力を続けていく所存です。

皆さんにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、
お願い申し上げます。

75th
Anniversary
栃木に根ざして75年

栃木トヨタ

栃木トヨタの歴史

1946
昭和21年

トヨタ自動車工業株式会社の県内初の代理店「栃木トヨタ販売株式会社」として宇都宮市西原町でスタート。翌1947(昭和22)年、桜通り沿い(現在の足利銀行本店)に本社を構える。さらに、1948(昭和23)年8月、全国ディーラーの商号変更に伴い、社名を現在の「栃木トヨタ自動車株式会社」に改称。



1954
昭和29年

本社以外の初の拠点として足利市伊勢町に足利営業所を開設。以後、黒磯、今市に営業所を開設し、拠点展開が始まる。現在は29店舗を展開。



1955
昭和30年

「トヨペット クラウン RS」発売。従来の国産乗用車がほとんど、トラックシャシーにボディを架装したものであるのに対し、シャシー設計から純然たる乗用車として製造された。



1964
昭和39年

モータリゼーションにより車の普及が進んだことで、本社が手狭になり、横田新町(現在の本社)に本社を移転。



1968
昭和43年

トヨタレンタリース栃木が営業開始。この頃、1967年にトヨタ2000GTとセンチュリー、1970年にカリーナが誕生するなど、急速に車種のラインナップが拡大。



1975
昭和50年

中古車販売を強化するため、3年間で中古車販売拠点を5か所新設。また、本社内に研修所をオープンするなど、教育体制を整える。



1989
平成元年

クラウンを超える高級車セルシオが誕生。バブル景気により1991年にかけて販売台数が増加する一方、当社は「お客様第一主義」を掲げ、原点回帰に取り組む。



1993
平成5年

宇都宮市にアウディ、フォルクスワーゲンを取り扱うDUO栃木中央(現在はVolkswagen栃木中央)をオープン。2017年にはVolkswagen西那須野をオープンし2店体制に。

ドイツ車を扱う DUO栃木中央がオープン(1993年5月)



1997
平成9年

世界初のハイブリッドカー「プリウス」が「21世紀に間に合いました」のキャッチコピーとともに誕生。当社は県内唯一の取扱店となる。翌年にはカー用品を扱うジェームス細谷店をオープン。



2005
平成17年

左)レクサス宇都宮北がオープン。高級の本質を提供(2005年8月)
右)42年ぶりに全面改装した本社社屋と横田店(2006年8月)



2014
平成26年

ミャンマーに自動車販売会社TOYOTA TAW WINをオープン。同国の経済発展に寄与するため、自動車の普及に努める。

新型 MIRAI 誕生(2014年12月)



2020
令和2年

ミャンマーの首都ヤンゴンにオープンしたTOYOTA TAW WIN(2021年7月)

数字で見る栃木トヨタ

自動車販売

100年超

栃木トヨタは1946年の設立ですが、その前身は1917年(大正8年)頃に設立したフォードの代理店。ルーツをたどれば100年を超えて自動車販売業に携わっています。

販売台数

約38万台

2020年までの累計販売台数。長年、地域の皆さまにご愛顧いただいた賜物と心から感謝いたします。多くのお客様との出会いを糧に、より良いサービスをお届けします。

鍛金・塗装専用工場

3か所

鍛金・塗装の専用工場の数。通常の自動車整備とは異なる設備が必要な鍛金・塗装。県北・県央・県南の3か所に構えて県内全域をカバーする十分な体制を整えています。

社員研修の回数

約100回

2019年度に実施した社員研修の回数。お客様に安心で快適なカーライフをお過ごしいただくため、当社では各階層に計画的に社員研修を実施し、研鑽を続けています。

整備台数

約24万台

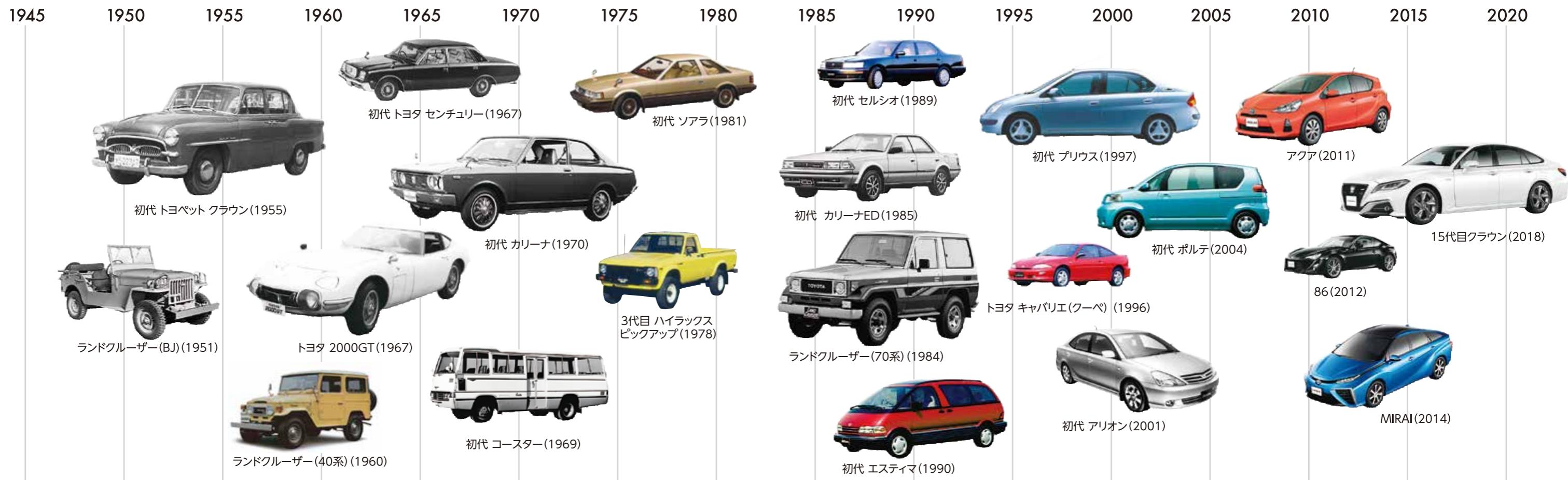
2018年の整備台数。快適なカーライフのため、ご購入後のアフターサービスに力を入れています。整備士は日々多くの車を整備し、腕を磨いています。

ハイブリッド車の取扱年数

24年

ハイブリッド車の取扱年数。世界初のハイブリッド車であるプリウスを県内で最初に取り扱って以来、ハイブリッド車に関する知識と技術を深めてまいりました。

栃木トヨタがお届けしてきた車種の歴史



新聞広告で見る栃木トヨタの歴史



栃木トヨタの取り組み

栃木トヨタは、お客様・社員・地域・業界への貢献を基本理念に掲げており、その実現に向けて様々な取り組みを行っています。

●地域

- 2018年～ 栃木トヨタのルーツ・那須烏山市の「やまあげ祭り」に社員が参加



- 2019年～ 県の「いちご王国・栃木」イベントに「いちごラッピングのクラウン」を貸与し、知事のトップセールスに合わせて大阪・東京へ出張。宇都宮短期大学附属高校などと「いちごイベント」を開催。



- 2022年～ 2022年「いちご一會とちぎ国体」向け、宣伝用の車を無償貸与

●環境

- 1997年～ ハイブリッドカーを普及・販売



- 2006年～ クールビズ（毎年5～10月）を実施し、電力を削減

- 2012年～ 那珂川の河川敷の清掃活動「トヨタソーシャルフェス」*を実施



- 2017年～ 塗装工場で使用する塗料を油性から水性へ切り替え

- 2019年～ お客様へのウエルカムドリンクに使用するストローを紙ストローへ切り替え

●教育

- 2008年～ お子さま向け「テクノショップ見学会」の開催（工場での整備体験、ディーラーの仕事紹介）



- 2015年～ 下野新聞社協力による「未来の車を描く絵画コンクール」の開催。優秀作品は車にラッピングをして展示。



●愛好家

- 2019年 T2 Factory開設

社員であるレーサーが、ドライブシミュレーターを使ってお客様へ運転アドバイスをするなど、モータースポーツファンが気軽に集まる施設を開設。年間を通じてレースに参戦し、地元開催は観戦ツアーを催行



- 2019年 自遊会設立

アウトドア愛好者のサークルを主宰。イベント開催や関連商品の割引販売、商業施設などで積極的な車の展示会を実施



近年のCSRの取り組みをご紹介します。



●スポーツ

- 1996年～ 天皇杯全日本サッカー選手権予選を兼ねた「栃木トヨタカップ」（2018年からはNEZASカップ）に特別協賛



- 2005年～ 宇都宮マラソンに先導車を提供



- 2015年～ 社員がインストラクターの資格を取得し、幼稚園などでサッカーを教えるキッズサッカー巡回指導を実施



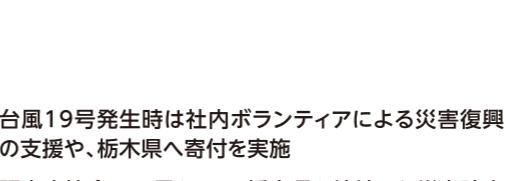
- 2017年～ 県民球団「栃木ゴールデンブレーブス」スポンサー就任。各地で野球教室を開催



- 2018年～ 子どものスポーツの可能性を見つけ、伸ばす機会を提供するDOSAスポーツ能力測定会を開催*



- 2019年～ 浅田真央サンクスツアーに協賛



●災害対策

- 2019年 台風19号発生時は社内ボランティアによる災害復興の支援や、栃木県へ寄付を実施

- 2020年 販売店協会の一員として、栃木県と締結した災害時応援協定に参画（災害時には全店舗を立ち寄り場所とするほか、県に車を貸与）



- 2020年 各店舗でポータブル電源や飲料水などの災害対策物資の備蓄を開始

●従業員

- 2018年 女性活躍推進のため「とちおとめプロジェクト」を立ち上げ
出産育児サポート体制整備など、ライフステージの変化に拘わらず、充実して働き続ける環境作りを目指す



- 2019年 健康経営の推進
従業員の心と体の健康維持・増進に積極的に関わり、健康で長く働ける職場環境を目指す
ワークライフバランスの促進、スポーツ大会ほか数々の健康増進策などに取り組み、優良な健康経営を実施している企業として「健康優良法人部門ホワイト500」の認定を3年連続で受ける



●新型コロナウイルス関連

- 宇都宮市に感染者輸送用の車両を無償貸与



- 栃木県へ新型コロナウイルス感染症応援対策寄付金、防護服を寄付

- 当社ホームページ上に、飲食店のお客さまの情報を掲載



- 栃木Connectedの開始
需給のアンマッチが生じた法人のお客さまにビジネスマッチングの機会を提供



- 当社ホームページ上にて、ステイホーム期間中に楽しめるコンテンツを提供



栃木の
おいしいもの
再発見

ご当地和菓子

綿半 大通り店

日光市



高貴な由来が詰まつた歴史ある手焼きまんじゅう

創業は1787年。「日の輪(170円)」は約200年前に誕生しました。命名は当時の法親王の宮。模様が太陽の輪に見えることに加え、日光の日と輪王寺の輪にもかけられています。大正天皇も自らお求めになつた一品です。もつちりとした皮の中に、北海道十勝産の小豆から作るこし餡がぎっしり。同店は日光で初めて羊羹を作った店としても有名です。



湯沢屋

日光市

上品な甘みと小豆の風味
日光の名水が生む伝統の味



↑水羊羹 5本750円～／厳選した北海道産小豆と最高級岐阜寒天を使い、手間隙かけて仕上げた逸品。豆乳水羊羹「鉢石」も人気商品です。

創業200年を超える老舗店。大正天皇に献上された『元祖日光酒饅頭』とともに、日光連山の清らかな水を用いた『羊羹』も長年親しまれている看板商品です。さっぱり滑らかな『水羊羹』、どちらも上品な甘さと風味が魅力です。現在店舗は建替のため11月頃まで休業中ですが、羊羹商のみ通販や「道の駅日光ニコニコ本陣」で購入可能です。



日光市下鉢石町946
0288-54-0038
不定休

※建替中のため店舗は休業中
【通信販売にて販売中】
www.yuzawaya.jp

菓子工房 SHIMADAYA

那須烏山市

朝日に輝く那珂川の夜露がモチーフ
ラムがふわりと香る老舗の和菓子



黄身餡にラムレーズンを入れて焼き上げ、甘さ控えめのホワイトチョコレートでコーティングした『しらつゆ』。和菓子でありながら洋菓子のような味わいが楽しめます。

コロント丸い一口サイズのフォルムもかわいらしく、大人はもちろん、お子様にも人気。発売開始から45年、今も変わらず店の人気No.1商品です。



那須烏山市南1-7-7
0287-82-2906
AM8:00～PM7:00
火曜定休
①P10台

↑しらつゆ 90円／一口食べると濃厚な甘味とラムレーズンの香りがふわっと広がる。

菓匠 おしゃま

日光市

生クリームたっぷり！ 和と洋の組み合わせの妙



↑日光生大福 194円～／二荒山神社内の茶店「あづまや」でも提供され、参拝客に愛されています。

『日光生大福』は、手まりの生クリームが包まれた大福です。「こしあん」「抹茶」、餅に竹炭を練り込んだ「ごま」(各194円)、餡の代わりに生チョコが入った「チョコ(238円)」が通年販売。砂糖を加えていないクリームが餡の風味を引き立たせ、あつさりとした味わいです。冷凍で販売され、30分ほどで食べごろです。



日光市御幸町614-1
0288-54-1597
AM8:30～PM6:30
水曜定休
②市営無料②利用

饅頭、最中、煎餅…日本人の「おやつ」として親しまれてきた和菓子。和菓子は代々受け継がれてきた伝統はもちろん、外来の文化も上手に取り入れ、独自の形で発展を続けています。栃木県内にも、和菓子職人の粋を集めた銘菓が多数存在します。今回は、そんな「ご当地和菓子」をご紹介します。



→あんどーなつ
れると評判です。130円／甘さ控えめでしつこさもない、何個でも食べら
れる



鹿沼市深程1666
0289-85-2536
AM8:00~PM6:00
火曜、第4月曜定休
②10台



鹿沼市深程1666
0289-85-2536
AM8:00~PM6:00
火曜、第4月曜定休
②10台

予約をしても食べたい
売り切れ必至の『あんどーなつ』

黒子松屋

鹿沼市

毎日500個が午前中のうちに完売してしまうとい
う超人気商品『あんどーなつ』。これまでにないよう
なサクッとした歯触りとともに、生地の中に、塩味の効いた程
よい甘さの餡がたっぷり。餡
は北海道産小豆の中でも高
品質なものを厳選し作る、店
自慢の味わいです。確実に購
入したい場合は予約がおす
すめ。ネットから10個予約で
1個サービスになります。

ほのかな鑛泉の香りと優しい甘み 上品で軽やかな栃木市の銘菓



↑ 鑛泉煎餅 1袋 867円／贈り物や保存に便利な缶入りもあります。

創業300余年の歴史を持つ「松屋」が、明治30年頃から作り
続ける『鑛泉煎餅』。宮内庁御用の榮誉も浴びた銘菓です。使う
素材は、当時から変わらず群馬県磯部温泉の鑛泉水と小麦粉、
砂糖、卵のみ。鑛泉に含まれる成分をいかした軽やかな歯触り、
ほんのり広がる鑛泉の香り、どこか懐かしい素朴な甘さが老若
男女から長年支持されています。

本店 / 栃木市室町12-11
0282-22-0981
AM9:00~PM6:00
月曜定休
②2台
<https://tochigi-matsuya.jp>



御菓子司 松屋

栃木市

チョコと餡の絶妙なハーモニー
和と洋が調和した創作和菓子



↑花めぐり 1個 120円／可愛らしい箱入り(6個 870円～)は、大切な方への手土産にぴったりです。

代々受け継ぐ和菓子の繊細な技術をいかして滑らかに仕上げた黄味餡を、ホワイトチョコレートで包みこんだ「花めぐり」。誕生したのは50年ほど前。以来、見た目の華やかさ、黄味餡とチョコレートの絶妙な相性が、幅広い世代に喜ばれています。チョコレートの心地よい口溶けとレーズンの入った餡の優しい甘さは、お茶はもちろん、コーヒーとも相性抜群です。

やわらかな食感と優しい甘さで、子どもから大人まで幅広い世代から愛されている「宮乃餅」は、明治42年宇都宮を代表する土産物を3代目が考案しました。材料は米・砂糖・水あめ・



↑赤羽まんぢう 各100円／「茶まんぢう」、白餡入り「きんとんまんぢう」、ユズ皮を加えた「ゆずまんぢう」。

時代とともに改良してきた
創業からある「まんぢう」

宮乃餅 本丸店

宇都宮市

明治天皇にも献上された
宇都宮を代表する銘菓



↑宮乃餅 250g345円(チョコ餅475円)／本店、本丸店のほか、宇都宮市内の駅や百貨店などで購入できます。



やわらかな食感と優しい甘さ

ず、昔ながらの製法で、現

代目

が毎日手作りしていま

す。

味は

ヨコ4種類、一口サイズでお茶

が毎日手作りしていま

す。

味は

ヨコ4種類、一口サイズでお茶

が毎日手作りしていま

す。



↑宇都宮市本丸町10-11
0028-688-7123
AM9:00~PM4:00
土・日曜、祝日定休



洋菓子店のようなモダンな店内に並ぶのは、素材も工程も一切妥協せず一から手作りする和菓子の数々。中でもファンの多い『だんご』は、挽きたての生新粉（米粉）を使った、米の甘みがふわっと広がる逸品です。なめらかなこし餡も上質な十勝産小豆から作るこだわりの自家製。みたらしは注文毎に焼きたてを用意しています。売り切れ次第終了のためぜひお早めに。

自家製粉した生新粉で手作り ふんわり風味豊かな絶品だんご



→あんだんご 108円・だんご 97円／ふんわりとやわらかく、噛むほどに広がる甘みと餡の上品さが格別。多彩な季節の和菓子も評判。



菓匠 藤井 足利市



佐野市本町2895
☎0283-22-2824
PM2:00～PM5:00
※売り切れ次第終了
日・木曜定休
②無し



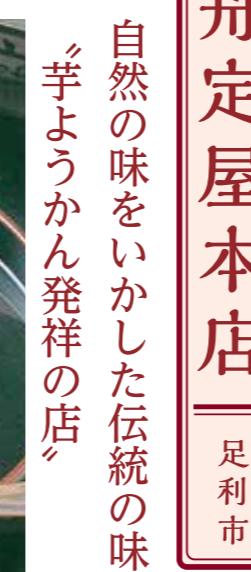
米の甘みと香ばしさが広がる
売り切れ必至の薄焼きせんべい

内藤せんべい 佐野市

地元の県産ブランド米「あさひの夢」を使い、手作りで焼上げるパリッと香ばしい佐野名物『薄焼きせんべい』。その厚さは1～2ミリほど。早朝から手捏ねで仕込み、太陽の下で天日干し。備長炭で一枚一枚手焼きし、米の甘さが引き立つよう控えめにしう油で味付けしています。毎日販売となるのは約1000枚。開店後30分で売り切れる日も。早めの来店がおすすめです。



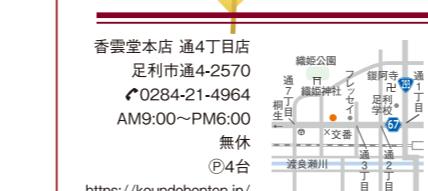
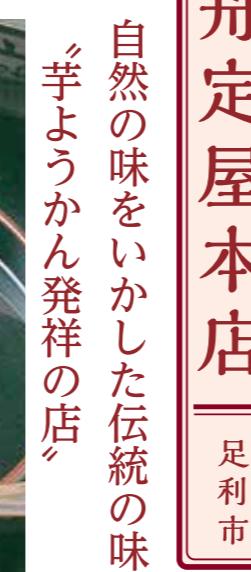
↑元祖芋ようかん 1本750円／手に持つとずっしりとした重量感。芋のうまみが凝縮されています。



舟定屋本店 足利市



明治時代に初代が浅草で芋問屋を創業。大正初期に二代目が『元祖芋ようかん』を考案。足利に移り、芋ようかん発祥の店として現在も伝統の味を守り続けています。主に茨城県や千葉県産の紅あずまを使い、皮むきからていねいに手作業。保存料を使用せずに砂糖と少量の塩のみで上品に仕上げています。サツマイモの自然な甘さが際立つ、素朴な味わいの逸品です。



香雲堂本店 通4丁目店
足利市通4-2570
☎0284-21-4964
AM9:00～PM6:00
無休
④4台
<https://koundohonten.jp/>



↑古印最中 785円(5個入り)／包装紙のデザインやしおりは相田みつを氏によるもの。



上品な餡と香ばしい皮が絶妙
愛され続ける老舗の傑作最中

香雲堂本店 足利市

足利学校や鎌阿寺など、足利ゆかりの古印・落款をかたどった銘菓『古印最中』。薄く香ばしい最中皮の中には、小豆の風味や食感をいかした甘さ控えめの餡がぎっしり。創業100余年の老舗のだわり製法による格別なハーモニーが広がります。季節の限定最中も人気で、4月までは『古印最中桜』も数量限定販売。細かく刻んだ桜の葉を使った春を感じる逸品です。

小野口家住宅

宇都宮市



風格ある豪農の屋敷構えに 郷土の歴史と文化を感じる

宇都宮市の西方、大谷石で知られる大谷地区。宇都宮市街から大谷街道を進み、城山中央を過ぎるとやがて森林公园入口の交差点。さらに直進して、すぐに右に入る小路が「細野街道」です。入口角の小野口家住宅の案内板が目印。少し進むと、右手の広い芝生の奥に石造りの長屋門が見えます。

小野口家は、江戸時代から名主を務めてきた旧家です。母屋を囲むように、長屋門や蔵など6棟の石造建築物が建ち並び、宇都宮近郊における豪農の典型的な屋敷構えを残しています。各建物は、江戸時代の文政8年(1825)から、明治・大正の時代にかけて建てられたものです。建築材料として、この地域で産出される大谷石のほかに、通称「田下石(多気山麓で採掘)」や「板橋石(旧今市市板橋地区で採掘)」などの石材を用い、それぞれの特徴を活かしながら巧みに使い分け

て造られ、その意匠も秀逸です。

「長屋門」は明治9年(1876)の建築。

当初屋根は石屋根でした。木造軸組みに外壁は旧今市地内産の板橋石を貼り、木製のアーチ状出入り口や小窓など、洋風建築の手法を取り入れた巧みなデザインが印象的です。長屋門に隣接した「旧乾燥蔵」は、大正後期の建築で、葉煙草の乾燥室・納屋として使われていました。長屋門と接続する倉庫建築としては、屋敷構えの景観を整えています。

また、長屋門の北側に建つ「旧堆肥舎」は、大谷石積みの平屋建てで、明治後期の造り。寄棟造りの屋根はトラス小屋組で、松又型の窓や隅部の白目の石積みに造形の工夫が見られます。

「裏の蔵」は、文政8年(1825)の建築で、小野口家の建物のなかで最古の建物です。石造りの2階建てで、当初は石屋根でした。木造軸組みで外壁は大谷石の薄板貼り。前面には、かつて母屋大玄関車寄せの唐破風庇が移設されています。

四季折々の草木と花々、そして水音も心地よい見事な庭園の奥に位置する「前の蔵」は、

江戸時代後期に建てられたもので、木造軸組みに外壁には田下石(大谷石の一種)が貼られています。

「旧酒蔵」は、かつて3棟あつた酒蔵のひとつです。明治5年(1872)の建築で、木造軸組み、腰部に廻した水切り上部の隅縫石貼りによって、単調になりがちな外観を端正にまとめています。

これら6棟の大谷石建築物は、平成11年10月14日に国登録有形文化財に登録され、さらに、200mにもおよぶ大谷石の堀が、平成18年10月18日に追加登録されました。

「江戸後期から大正後期まで、およそ100年にわたる建築物を後々まで残して、故郷の歴史を知る一助になればと思っています」と語るのは、当家18代当主の小野口順久さん。広い空、そして多気山と古賀志山を間近に望む風景に溶け込む長屋門と屋敷構えに、郷土の誇りを感じます。



「裏の蔵」。当家最古の建物で、かつての母屋大玄関から移設された唐破風庇も見事です

「裏の蔵」。当家最古の建物で、かつての母屋大玄関から移設された唐破風庇も見事です



「長屋門」全景。アーチ状の出入り口や小窓など、洋風の意匠が印象的



「旧堆肥舎」。石積みや松文の小窓などに粋な雰囲気が感じられます。ちなみに現在はトイレに改装されています



長屋門の内部は画廊に改装されています(非公開)銅葺きの扉も重厚



広い芝生の奥に佇む長屋門と石塀。背後に多気山が見えます



18代当主 小野口順久さん。長屋門の前で



小野口家住宅
宇都宮市田野町885
☎028-652-0407
<http://www5.plala.or.jp/toeido/>
●有り
※個人宅なので、見学については事前に
お問い合わせください。
●ポストカード(12枚組 600円)販売中

栃木の民話を訪ねて 第三十八回 かなふり松

足利市

足利学校の第七代の校長先生は九華というお坊さんでした。九華先生のおいでになられたときが、一番栄えたときでした。何しろ、ここに集まつて勉強する生徒の数が三千人もいたといわれたほどです。このように、たくさんの生徒が教えを受けているのですから、教室も幾棟も建てられていました。そうしたたくさんの学生の中には、まじめに勉強する人たばかりでなく、ここに出てくるチンネンやカンネンのような、怠け者もいたのです。

生徒たちは、朝早く起きて、教室の掃除をしたり、庭掃きをしたり、机の掃除をしたり、さぞにぎやかだったろうと思います。時には、先生にお目玉をいたく人もあるたろうと思います。

朝の食事が済むと、午前中の勉強になります。冷たい板の間に座つて、先生からお話を聞いたり、難しい文章を覚えさせられたりしたのです。そのうえ、試験があって、それに合格しないと次の勉強が受けられなかつたのですから、大変だつたところです。カンネンは、先生の声にびっくりして、鼻の穴を大きく開けて、あくびを殺しました。チンネンが、ぐうぐう寝ていましたので、チンネンの足を指でぎゅっとねりました。

「チンネン、ここ、また居眠りか。」

と、先生の大きな声が教室に響き渡りました。他の生徒の中にも、居眠りの出そな者もおりましたので、先生は、ことさらに大きな声を出されたのです。チンネンの隣に座つていたカンネンも、もう少しで、大きなアクビをしそうになつたところです。カンネンは、先生の声にびっくりして、鼻の穴を大きく開けて、あくびを殺しました。チンネンが、ぐうぐう寝ていましたので、チンネンの足を指でぎゅっとねりました。

「いてて……」

チンネンは大声を張り上げましたので、教室の生徒は大笑いしました。先生は、にこりともされずに、

「寝ているだけでも悪い上に、寝言を言つとは何事だ、ハハ。チンネン。」

「ハ、ハイ。」

チンネンは、もう固くなっています。眠いどころではありません。

「今度の試験に落ちました、もう学校には置かないぞ。」

「先生、悪うございました。お許しください。これから、しっかり勉強します

さつきから黙つてこの話を聞いていたのは、チンネンだったのです。先の試験の前にこの木に助けてもらつたのだから、真剣だったのです。

「本当に松の木の精か、ごおか、僕が今晚起きていて、確かめてみる。」

と、チンネンが言ったのです。さつきから、この話に持ち切りだつた生徒たちは、チンネンの言葉を聞きつけると、

「お前なんか、昼間、居眠りばかりしているくせに、どうして夜通しなんか起きていられるものか。そうだろう……」

「昼間居眠りしているから、かえつて夜は起きていられるかもしれないぞ。できるならやつてみろチンネン。」

「ハハハハ……。」

「こう、そこで、何を騒いでいるのだ。早くお掃除をしないか。」

と、先生のおいでになる部屋の方から、鋭い声がかかりました。五、六人の生徒たちは、蜘蛛の子を散らすように、竹ぼうきを持って逃げていきました。

夕食の時間を知らせる鐘が鳴り響きました。あんどの薄暗い部屋で、どの生徒もきちんと座つて食べてあります。

片隅に、チンネンたちがさつきの話の続きをしようとしていたのですが、うつかりしゃべると叱られると思って黙っていました。

食事が終わると、めいめいの部屋で夜の自習の時間です。チンネンはカンネンに、さつきのことをひそひそ話していたのです。そして、カンネンに励ましたのです。

やがて、みんなが寝静まつた頃、むつくりと床から起き上がつた生徒がありました。チンネンだったのです。足音を忍ばせて、真っ暗な庭に降り立ちました。

校長先生のお部屋だけあんどんが灯されて、ぼんやりと光が庭先に届いています。あるかないかの木の影が、何か、魔物の姿のように見えました。松の精が、今出てくるか今出でてくるかと思うと、だんだん恐ろしくなってきました。あまり心が張り詰めていたので、すっかり、疲れ切つてしまつたのでしよう。はつと気が付いたときは、もう東の空が薄明るくなつていきました。恐る恐る不思議な松の木のところへ行つてみると、もう紙切れの裏には答えがちゃんと書かれていたのです。

その朝、チンネンは、友だちに布団をはがされるまで眠つていました。起きた途端に、みんなから笑われました。あたりがまぶしいようで目を開けていません。ぼんやりしながら朝の仕事をしました。その日の勉強時間は、眼くて眠くて仕方がありませんでした。ももをつねつたり、お便所に行つたり、水で顔を洗つたりして我慢しました。

チンネンは、タベのように、庭に出ました。眼氣がさすと、竹のぼねで目を開か

す。」

チンネンは、今にも泣き出しそうです。さつき、どつと笑つた生徒たちも、びつくりして、しぜんと静まりかえつてしましました。

その日の勉強も終わつて、夕方になると、またお掃除です。チンネンとカンネンは、聖廟の前の庭を掃いておりました。

「おい、カンネン、僕は、もう学校にはいられなくなるんだ。いふらやつてわだめだ。」

「チンネン君。そんなに悲しいことを言うなよ。僕だって、君と同じ仲間だや。カカンネンは、何度も落第した生徒だったので。

「だつて、何もわからない者が、合格するわけがあるか。」

「今度こそは、何とかやろうぜ。な、石にかじりついても……。」

二人は、何やりこそ相談し合つて、何を思いついたのか、カンネンが、教室の方に走つてきました。チンネンは、一生懸命庭掃きを始めました。さつき話し合つたことは、孔子さまにお願いして、助けていただこうということだけでした。そのため、小さな紙切れに、試験の問題のわからないところを書いて、聖廟の前の松の木の枝にそつと吊るしておいたのです。

チンネンは、その晩、孔子さまが願いを叶えてくれるだらうかと思ひながら寝ましたので、次の朝は、珍しく早く目が覚めました。カンネンがぐうぐういびきをかいて寝ていましたので、「カンネンをびっくりさせてやれるぞ。」と、心に思つたのでしよう。そつと抜け出して、松の木の所に行き吊るした紙切れを見て、びっくりしました。目を何度もこすつてみました。チンネンにも読める字で、意味の分かりました。目を何度もこすつてみました。チンネンにも読める字で、意味の分かることの早い生徒たちの耳に、このことが入らないわけがありません。

噂を立てるこの早い生徒たちの耳に、このことが話に上つたのです。

「一体、この紙の答えは、どなたがお書きになるのだろう。」

「それは、松の木の精（草木などに宿る魂）だよ。この松の木にはきっと精が宿っているのだろう。」

「松の木の精って、そんなに学問ができるのかなあ。」

「精というものは、すばらしい不思議な力があるから、何でもできるんだ。」

せたりしました。遠くの山からキツネの鳴く声が、かすかに聞こえています。そのたびごとにチンネンは、びっくりして、眼氣が覚めるのです。

ガラガラガラ、ピシーンという音が、かすかに聞こえたかと思うと、教室の裏の方から聖廟に向かつてぼんやりした明かりが近づいてくるようです。目をこすつてよく見ると、真っ黒い大男が来るようです。チンネンは、「助けてえ……」と、今少しで叫ぶところでした。心を落ち着けてじつと見ようとしますが、ぶるぶる震えますからだははどうしても抑えきれません。

さつきいた大男は、姿を消して、今度は、明かりだけが歩いているように見えます。あちこちに行つたり、こちこちに向きを変えたりして、やがて松の木の下に明かりが置かれたようです。

そのとき、また、うとうと、眼氣がさしてきました。「僕は、肝心な時になると、どうして、こつ眠くなるのだね。」と思ひながら、からだのあちこちをつねりました。

松の木の方を見ると、今、大男が松の木に吊るされた紙切れを取つていています。

「今日こそ、正体をつきとめたぞ。」と、心中で叫んだのです。聖廟の孔子さまだとしたら、聖廟から出られるはずだ。松の木の精なら、急に松の木のところに出るはずだ。教室の近くの校長先生のお部屋に明かりがついているのを見ると、校長先生かもしない。そんなことを考えているうちに、明かりがまた歩きはじめました。大男が明かりの後からついて行くようです。

チンネンは足音を忍ばせて、不思議な松の下に行つてみました。一つも紙切れはついておりません。明かりは、まつすぐに校長先生の部屋の方に行つてしましました。

「きっと、校長先生が、ああして教えてください。」と思うと、怖くなりました。もうじつとしりへなくなつて、そつと校長先生の部屋の近くまでやつてきたチンネンは、そこでもびっくりしました。大男が筆を持つて何か書いていました。大男が明かりの後からついて行くようです。

チンネンは足音を忍ばせて、不思議な松の木には、「かなふり松」という名前がつけられるようになりましたが、この正体をつきとめて知つている者は、チンネンとカンネンの二人だけだったということです。

安心・安全のために

1 店内にアルコール消毒液を設置

店舗の入口や化粧室等にアルコール消毒液などの除菌グッズを設置しております。ご自由にご使用ください。



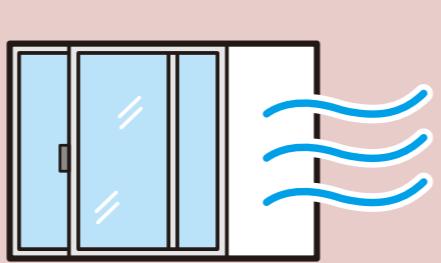
2 定期的な店舗内の除菌清掃

店舗入口のドアスイッチ等、店舗内のイス・テーブルなどをスタッフが定期的に除菌清掃しております。



3 定期的な店内換気の実施

定期的に店舗の入口や窓を開放し、店舗内の換気を実施しておりますのでご理解、ご協力をお願いいたします。



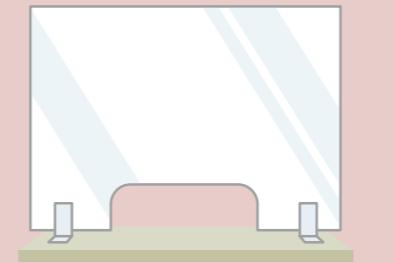
4 テーブルレイアウト変更によるソーシャルディスタンスの確保

店舗内の商談スペースやお待ち合いスペースのレイアウトをソーシャルディスタンスが確保できるように変更しております。



5 飛沫感染防止アクリル板を使用

受付や商談の際に、飛沫感染防止のためのアクリル板を使用しております。



6 クレジット決済端末、筆記用具の除菌清掃

お客様がご使用になられるクレジット決済端末や筆記用具などを隨時、除菌清掃しております。



栃木トヨタでは、以下の対応を実施しております。

7 展示車、試乗車、代車の除菌清掃

展示車、試乗車、代車などのドアハンドル・ステアリング・シートなどをスタッフが定期的に除菌清掃しております。



8 お預かりしたお車への除菌等の対応

作業時に触れた箇所(ドアハンドル等)を除菌した上でお引渡ししております。また、使い捨てのシートカバー・ハンドルカバーを使用しております。(在庫不足により対応できない場合除菌)



9 お客様へのお飲み物のご提供をパック飲料又はペットボトルに変更

従来、お客様に提供させていただいたお飲み物をパック飲料やペットボトルに変更させていただいております。



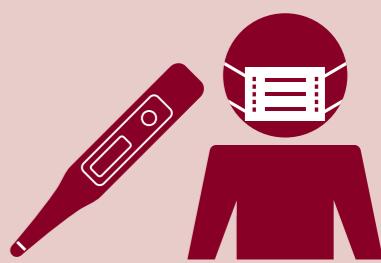
10 キッズコーナーを一時閉鎖

店舗内のキッズコーナーを一時的に利用停止にさせていただいております。ご理解、ご協力をお願いいたします。



11 従業員の毎日の健康チェック、マスク着用義務付け

従業員に毎朝の検温実施を義務付け、発熱時には自宅待機を指示しております。またマスクの着用も義務付けております。



12 従業員の手洗い・うがい・除菌消毒を徹底

従業員に随时、手洗い・うがい・除菌消毒を徹底するように指示しております。



2021年 営業日のご案内

4月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1				
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

誠に勝手ながら●は、店舗クローズとさせていただきます。

★クローズ中、お急ぎの場合の連絡先(24時間・365日対応)

●JAF(日本自動車連盟) ●東京海上日動火災保険株式会社 ●三井住友海上火災保険株式会社 ●あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
0570-00-8139または#8139 ☎0120-119-110(事故受付) ☎0120-258-365(事故受付) ☎0120-024-024(事故受付)

緊急時の連絡先等は、「栃木トヨタ公式ホームページ」でもお知らせしています。

栃木トヨタ事故・故障受付センターを開設しました。
0120-656-860

店舗営業時間外や、長期休業中でもお客様の第一報を受け付け、保険会社、ロードサービスへの一元手配を行い、24時間・365日、お客様と繋がり、安心のカーライフを実現致します。

●自然を愛する人の集まり ●自然と遊ぶ人の集まり ●自然と自動車で遊ぶ人の集まり

Tochigi Toyota RV Owners Community

自遊会

TOCHIGI TOYOTA 自遊会

会員募集中
入会金・年会費 無料

「自遊会」に関するお問い合わせは、栃木トヨタのスタッフまでお気軽に。

自遊会 LINEで情報発信中!!

LINE QRコード

お友達登録をしていただくと、新型車情報、各種イベント案内などの情報をいち早くご案内いたします。お友達登録は[こちら](#)↑

車がもっと楽しくなる!
好きになる!

T2 FACTORY

宇都宮市細谷町702-5 ジェームス細谷店2階 ☎028-600-8686

会員募集中
入会金・年会費 無料

TOYOTA GAZOO Racing 86/BRZ Race
2020年 年間チャンピオン獲得

2020年 レース結果
スポーツランドSUGO 3位 表彰台 獲得!
オートポリス 2位 表彰台 獲得!
十勝スピードウェイ 2位 表彰台 獲得!
岡山国際サーキット 2位 表彰台 獲得!
ツインリンクもてぎ 2位 表彰台 獲得!

2020年 年間ポイントランキング1位獲得!!

クルマ・モータースポーツファンのための情報発信基地として、2019年にオープン。レース活動を通じて蓄積してきたノウハウを活かし、各種チューンナップパーツのご紹介や常駐プロドライバーによるドライビングアドバイスを行います。歓談スペースでは、クルマやレースに関する情報交換など、ご自由にお使いいただけます。

ドライビングシミュレーター 体験料金 1,000円(1回10分・税別)

※ご利用には制限がございます。お気軽にスタッフまでお問い合わせください。

栃木トヨタ 那須烏山店 改装オープン!!



ダイハツ烏山 同時オープン!!



栃木トヨタ那須烏山店のリニューアルとともに、当社初となるダイハツショップ「ダイハツ烏山」がオープンしました。トヨタ車はもちろん、ダイハツ車も栃木トヨタにおまかせください。

栃木トヨタ 那須烏山店
那須烏山市大桶973-1 ☎0287-83-1181

ダイハツ烏山
那須烏山市大桶973-1 ☎0287-83-8787

- 営業時間／午前9:00～午後6:00(最終受付・午後5:00)
- 定休日／月曜日(不定休・長期連休等もございます)

